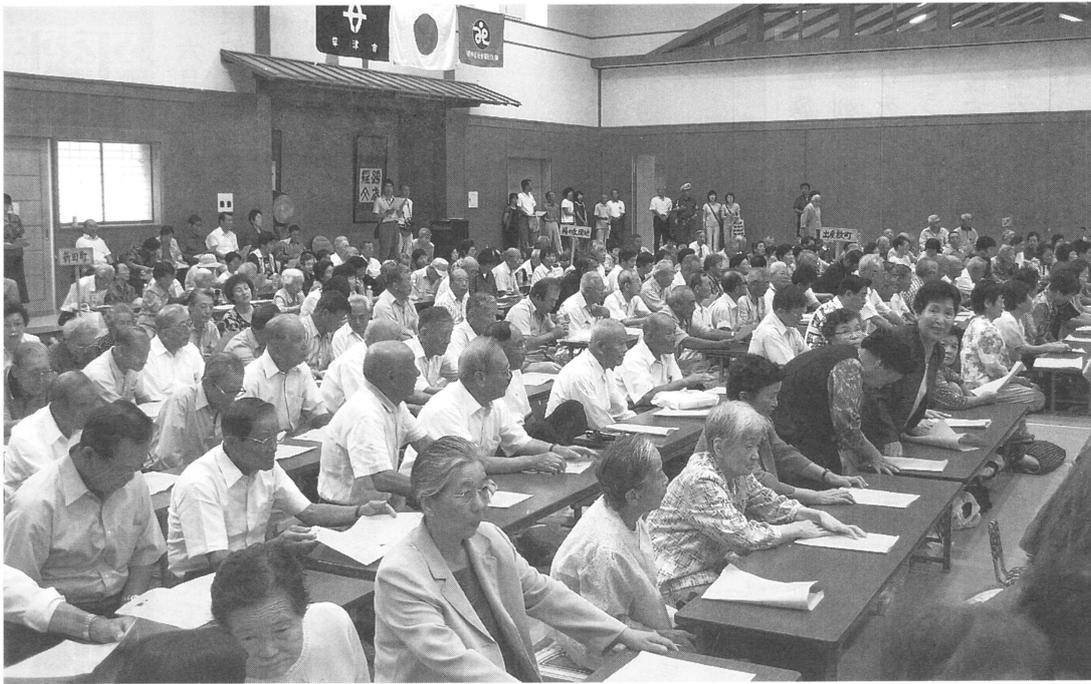


山田学区

社協だより

第 50 号

発行
山田学区
社会福祉協議会



❀❀❀
ご挨拶にかえて
 ❀❀❀
 会長 中島 四郎

寒さきびしい折、山田学区民の皆様にはご健勝のこととお慶び申しあげます。

日頃は、山田学区社会福祉協議会の諸活動に格別のご理解とお力添えを賜り、厚くお礼申しあげます。

今年度も六月十七日(日)に戦没者追悼式を開催し、九月十七日(敬老の日)には、敬老会を武道館で開催いたしました。昨年は台風襲来のため、やむなく中止となり、ご協力頂きました役員の皆様や、出演予定の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしましただけに、二年ぶりの敬老会には、一層の気持ちをこめて、準備をさせていただきました。

今年度、敬老会のご案内をさせていただいた七十才以上の対象の皆様は一三一六名で、当日は四五〇余名の方が元気なお顔を見せていただき、多数の来賓のご臨席のもと、敬老祝賀会が盛大に挙行されました。

山田学区敬老会が今後益々盛んになり、皆様方の熱気会場溢れんばかりになることを期待し、ご出演をいただいた皆様、また準備等のためにお力添えを頂きました関係各位の皆様には厚くお礼を申しあげます。

平成十九年度 平和祈念戦没者追悼式開催

六月十七日(日)山田公民館において、山田学区平和祈念戦没者追悼式が、学区内一八一柱の御霊前で厳粛に執り行われました。



ご遺族をはじめ、ご来賓、一般参列者多数の皆様にお参りをいただき、誠にありがとうございました。

戦後すでに六二年を経て、過去の悲惨な戦争は忘れられ、風化されつつあります。今つつがなく暮らしている幸せに感謝し、このような悲劇を二度とくり返さないよう平和を守り、このことがいかに大切である

かを子孫に伝えていかなければなりません。

今年山田小学校児童のみなさんが、心をこめて折った千羽鶴を供えさせていただきました。一人ひとりの思いが、地域の中に広がっていくことを願うばかりです。

ここで犠牲になられた方々に敬意を表し、永遠の平和を祈り、あわせてご参列を頂きました皆様のご健康をお祈りいたしますとともに、式典挙行に際し、準備などのためにお力添えを頂きました関係各位に厚くお礼申しあげます。



慰霊碑にもお参りいたしました

ふれあいバスツアー 〜お一人暮らしの日帰りバス旅行〜

十月十一日(木)、まだまだ汗ばむような陽気の中、福祉バスを満員にして、近江八幡の国民休暇村へと出発いたしました。

途中の景色の中に、紅葉と出会うのは少し早いようでしたが、午前十一時すぎ到着。全員で記念撮影のの



ち、大広間に準備された料理に舌鼓を打ちました。その後、温泉に入る人、館内でショッピングを楽しむ人など思い思いに過ごしていただき、午後二時、休暇村に別れを告げ、途中鮎家の里で買い物を買って、午後四時すぎ、公民館に到着。
「又、来年も楽しみにしていますよ……」と皆さん元気に家路に着きました。

平成十九年度 山田学区 社会福祉 協議会 本部会役員

- | | |
|------|-------|
| 副会長 | 岡中 四郎 |
| 会長 | 岸多加 志 |
| 会計 | 田中 春行 |
| 事務局長 | 古川 久夫 |
| 事務局 | 後長 正信 |
| 監事 | 清水 芳江 |
| | 本多 利光 |
| | 馬場 孝 |
| | 馬場 利光 |
| | 木戸 稔 |

山田学区福祉委員会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 北山 善一 | 奥村 善一 | 平井 三郎 | 清水 正樹 | 駒井 弘 | 矢野 朱美 | 久泉由紀子 | 筒井サツ子 | 菊池 康則 | 齊藤 勝彦 | 仲川 眞二 | 西本二二 義 | 堀井 巧 | 山中 秋夫 | 山内 久代 | 植西 小雪 | 上田 郁子 | 田畑 豊明 | 清水 健士 | 柴田 潔 |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|

山田学区 地域福祉懇談会の開催

今年も、十一月十日(土)、

山田公民館で午後七時から開催致しました。地域福祉懇談会は去年から始まりました新しい事業で、学区社会福祉協議会が主催し、草津市と市社会福祉協議会が共催となっています。

ことしの話し合いのテーマは、『地域における災害時の避難支援について』です。これは、市の今年の一テーマとなっています。

まず、全体会議で、新潟県中越沖地震から見えてきたものということで『信頼が助け合いに』、『向う三軒両隣が力に』という例で、「お互いの顔が見え、何かあったら地域に頼る」信頼感を構築し、「地域の課題は地域で解決」することを学びました。これは、去年の福祉懇談会でも「近所付き合いの希薄化と住民交流

の場の確保」が課題と指摘されているところです。

そのうえで、おおむねグループ十二名で、三グループに分かれ、ワークシヨップ方式による話し合いを行いました。これには、災害時の避難支援・あなたなら何ができますかというところで、あらかじめ設定されている項目ごとに話し合いを進めてまいりました。

グループ協議のあとで、各グループの話し合いの成果を発表しました。その概要を次のようにまとめました。

①あなたは「ドン！」「グラッ！」と地震がきたらまず何をしますか。では、自分の身を守ることに徹するというのが一番多かったですが、まず逃げ道を確保するとか、火の始末を

するとかがこれに続きます。なかには、枕もとに非常用のズキンとスリッパを確保しておくとともに、安全な場所に非常食、飲料水、ガスなどをすでに確保しているかたもおられました。

②災害時要支援者へ配慮では、身近にいる高齢者ということになります。最近のお年寄りは、みんな元気である、だからやはり障害者に目を向けよう、いや、大人はやはり自分で逃げようとする意志は十分働きま



すし、その判断ができますので、乳幼児を一番に助けようということでした。

③地震に備えて、隣同士・近所・町内会を取り組める活動を考えてみましょう。では、隣近所のお年寄りを把握しておく。市が決められている避難場所はちよつと遠いので、町内会で集場所を決めている、そして集まった人々を確認し、みんなで避難場所に移動するよう申し合わせをしている。町内会で自主防災組織



をつくる。年に一度は避難訓練を実施するとともに、避難場所、町内の消火栓位置などの確認をしておくことが必要である。隣近所の日頃の付き合いを大切にす、町内会の組の名簿等を作っておくとよい。という意見が出されました。また、このような話し合いは、町内会で行うのがもつともよいのではないかとの意見も出され、おおむねこの懇談会の最初の目的は達成できたかなと思われま



山田ふれあいまつり

10月27日～28日開催

山田学区ふれあい祭りは、10月27日、山田小学校の音楽祭を皮切りに始まり、28日は山田市民センター・山田幼稚園の二つの会場で盛大に行われました。学区社会福祉協議会では、「赤い羽根共同募金」を実施し、多くの皆様の暖かいお気持ちを募金箱に頂戴いたしました。

お寄せいただきました21,159円は草津市社会福祉協議会を通じ、滋賀県の共同募金会へ収めさせていただきます。ありがとうございました。



月の探査衛星「かぐや」から「地球の出」の映像が送られてきました。とてもきれいな青い地球。温暖化がこれ以上ひどくならないように私達も心がけないといけないですね。

編集後記

